

特許出願中

チェーンステッチで作る
憧れのオートクチュール刺しゅう

Crochet de
LUNÉVILLE
リュネビル
クロシェ針

リュネビル刺しゅうとは...

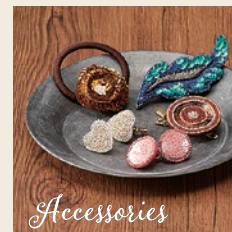
近年、注目度が高まっているリュネビル刺しゅう。フランス伝統の刺しゅう技法で、オートクチュール刺しゅうのひとつです。先端がかぎ状になったクロシェ針を使用し、ビーズやスパンコールを生地の裏側からひとつずつ刺してとめていきます。慣れてくると、刺しゅう針を使うよりも速く、正確に、広い面積を刺し埋めることができます。

ひと針ひと針刺しゅうする優雅な時間と、ビーズやスパンコールで表現するきらびやかな世界をお楽しみください。

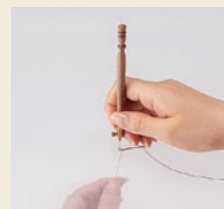


▲
リュネビルクロシェ針の
詳しい説明はこちらから
(1月中旬公開予定)

(実物大)



《 使 い 方 》
ビーズやスパンコールを使用する時は、あらかじめ糸に通しておき、生地は、裏側が上になるように刺しゅう枠に張ります。生地の上でクロシェ針を持ち、もう片方の手は生地の下で糸を持ちます。生地に針を刺し、生地の下で針に糸をかけ、チェーンステッチをする要領でビーズやスパンコールを刺しとめていきます。



※ 商品の色は、印刷のため実際の色と異なる場合があります。
※ リュネビルクロシェ針の木柄は、職人による手加工のため、サイズや形状に若干のばらつきがあります。

《 内 容 》

リュネビルクロシェ針...1本
(#75の針がセットされています)



57-567
リュネビルクロシェ針

密に刺せて
使いやすい
細めの番手

#75の針が
セットされています

品名	発注No.	JANコード	希望小売価格	パッケージサイズ (幅×長さ×厚さ)
new リュネビルクロシェ針	57-567	4901316 57567 0	3,500円+消費税	80×185×12mm

<出荷日> 2020年1月16日より

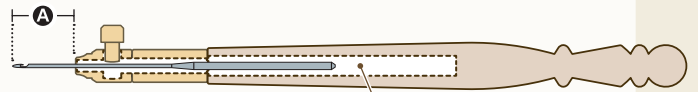
●出荷単位 1個 (上記価格は2019年12月現在の価格です)

Crochet de
LUNÉVILLE
リュネビル
クロシェ針

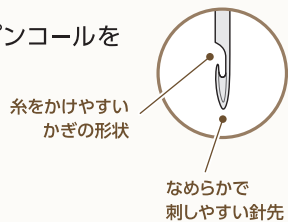


特長

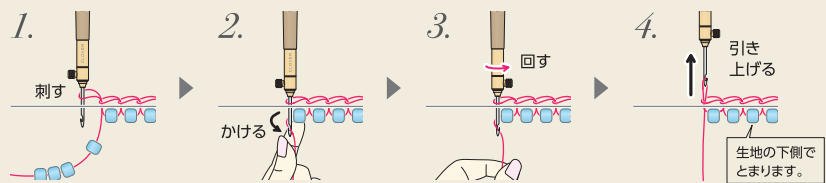
- 針の付け替えが可能。
(#120までのサイズに対応)
- 針を切らずにそのままセットできます。
(一般的に、針を必要な長さにペンチでカットする必要がありました)
- 針の長さ(A)を1.3 cmまでの範囲で、お好きな長さに調節できます。
- セットされている #75 の針は、小さなビーズやスパンコールを密に刺すのに適したサイズです。
- 使用しない時は、針を柄の中に収納できるので、持ち運びにも安心です。



柄の中の空洞がポイント!



ビーズのとめ方



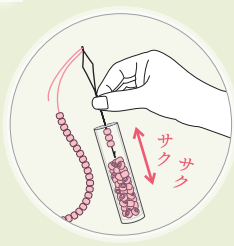
用意するもの

- 刺しゅう枠：両手が自由に使える自立式(スタンド式)の刺しゅう枠
↳ 57-493 ターンフープがおすすめ!
- 生地：オーガンジー
(透ける生地がおすすめ!)
- 糸：オートクチュール刺しゅう糸やマシン糸、メタリック糸
- その他：ビーズやスパンコール

— たくさんのビーズを糸に通す時に! —

サクサク
ビーズ通し針
QUICK BEADING NEEDLES

バラのビーズの中に、針を入れて上下に動かすと、簡単にビーズが針に通ります。



※ バラのビーズは、細長い入れ物に入れて使いましょう。



品名	発注No.	JANコード	希望小売価格	パッケージサイズ (幅×長さ×高さ)
new サクサクビーズ通し針	57-569	4901316 57569 4	800円 + 消費税	50 × 125 × 3 mm

<出荷日> 2020年1月16日より

● 出荷単位 5個 (上記価格は2019年12月現在の価格です)